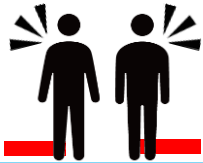


# 令和6年度 高松市立円座小学校 学校経営方針

## 1. 学校教育目標



**捉える**

学習や身の回りの課題を自分事として把握する



**繋がる**

他者と協働して、あきらめずに課題を解決する



**拓く**

新たな気づきをもとに、変化を創る行動を起こす

自分の置かれた環境に主体的に働きかけて、困難な課題でも他者と協働しながらあきらめないで解決しようとする。

**円座っ子**

成功体験だけでなく失敗体験からも学ぶことができると自分の体験を肯定的に捉える。

## 2. 研究主題

問いの解決に向けて、共に考えを創り上げていく子どもの育成

## 3. 教育活動

明日も来たい 円座小の realization をめざして

**思い合う**

な 子 ま つ く り

笑顔でつながる「なかまづくり」のために

- E活動、強めよう絆月間の取り組みを通して、自他の個性を尊重し相手の立場になって考え、行動できる協力的な人間関係を築く。
- 児童一人一人をかけがえのない存在と捉え、個性や独自性を大切に
- 心理的安全性のある学級経営に努め、児童の成長・発達を支えるための指導・支援を推進する。

円座で学び、円座で暮らしてよかったと思える教育のために

- 人、もの、ことなど地域の教育資源との関連を図った教材の開発や体験活動の充実を図り、地域への愛着や誇りをもつ児童を育てる。

**考え学ぶ**

確 立 子 立 び

か な 学 び

誰一人取り残さず、一人一人が輝くために

- 「個に応じたきめ細かな指導」を充実する。
- 児童の知的好奇心を喚起し、主体的に考える姿勢を育む授業を創造する。
- 生徒指導の視点に留意した授業自己存在感の感受**
- 一人一人が大切な存在だと感じられるようにする。
- 共感的な人間関係の育成**
- お互いのありのままを受け入れる他者受容感を育てる。
- 自己決定の場の提供**
- 自分で考え判断し、実行できる場面を意図的に設定する。
- 安全・安心な風土の醸成**
- 安心して楽しく学べる雰囲気を感じられる授業を推進する。

**信じて進む**

健 全

や か 安

健やかな成長のために

- 円座リンピック、元気いっぱい円座っ子スポーツ等を通して、運動に親しむ態度を育成する。
- かっこE円座っ子チェックを活用し、心身の健康に資する基本的な生活習慣を確立する。
- 学校保健委員会を開催し、健康・安全課題を共有する。
- マイランチの日を設定し、食生活についての関心を高める。

安心で安全な学づくりのために

- 交通安全指導、防災教育、避難訓練等を通して、危険予知能力・危機回避能力を育成する。
- 校内安全点検の徹底、日々の安全指導の充実を図ることによって、けがや事故防止に努める。

## 4. E-なかま

志をともにするチーム「E-なかま」の協働体制の構築

**地域**

社会に開かれた教育課程の実現

- 生活科・総合的な学習の時間を中心とした地域教材の開発
- 学校運営協議会との連携
- 防災教育における連携
- 地域関係団体との連携を図った活動の推進

**信頼される教師**

- 子どもによりそい、豊かな成長を支える教師
- 情熱をもち、人間性豊かで、子どもにとって魅力的な教師
- 「わかる・できる・楽しい」授業が実践できる教師
- 同僚と協働して教育課題を解決できる教師
- 保護者や地域と適切な連携がとれる教師

**保護者**

- 定期的な情報発信
  - ・学校だより・ブログ
- 子どもの思い、保護者の意向についての情報交換
  - ・個人懇談会・連絡帳
- 教育活動に対する理解
  - ・授業参観
  - ・学校会計
- いじめ・不登校・事故が発生した場合の迅速な連絡と連携
- 児童の健全な成長を図るためのPTAとの連携
  - ・PTAの業務改善

# 学校経営全体構想

## 本年度の教育

本校の児童は、明るく、素直で活動的である反面、友達との人間関係がうまく築けなかったり、自分に自信がもてなかったりして、学校生活にうまく適応できない児童もいる。また、21世紀は、予測困難な社会とも言われ、子どもたちが、これからの時代を心豊かにたくましく生きていくためには、互いの価値観を正しく理解して幅広く深く考え、互いを尊重しながら協力し、よりよい社会や幸せな人生を築き上げていく力を身に付けていく必要がある。

そこで、本年度の学校教育目標は、「捉える 繋がる 拓く 円座っ子」とする。「捉える」とは「学習や身の回りの課題を自分事として把握すること」、「繋がる」とは、「他者と協働して、あきらめずに課題を解決すること」、「拓く」とは、「新たな気付きをもとに、変化を創る行動を起こす」ことである。めざす子どもの姿として、「自分の置かれた環境に主体的に働きかけて、困難な課題でも他者と協働しながら、あきらめないで解決しようとする」を掲げる。

このような子どもを育成するために、研究テーマ「問いの解決に向けて、共に考えを創り上げていく子どもの育成」に沿った取り組みを推進し、めざす学校の姿である「明日も来たい円座小」の具現化めざす。

## 本年度の重点項目

### 思い合う子

- ★協力的な人間関係の構築
- ★自尊感情の醸成や豊かな人権意識の育成
- ★心理的安全性のある学級経営の推進
- ★地域への愛着や誇りをもつ児童の育成

### 考え学ぶ子

- ★個々の学習状況等に応じた指導内容や指導方法の工夫
- ★「個を生かす協働的な学び」の実現による思考力表現力の育成
- ★生徒指導の視点に留意した授業の推進と学習意欲の向上

### 信じて進む子

- ★運動に親しむ態度の育成
- ★心身の健康に資する基本的な生活習慣の確立
- ★危険予知能力・危機回避能力の育成

### E-なかま

保護者との信頼関係を構築し、子どもたちの成長を促すための連携を図る。

## 教育活動の具体

### 思い合う子

#### 1. 笑顔でつながる「なかまつくり」を推進する

- 様々な教育活動に対する児童の取り組み姿勢について、教師が適切にフィードバックを行うことによって、自尊感情を醸成したり、豊かな人権意識を育成したりする。
- 学級担任を中心に、児童がお互いに認め合い安心できる学級の雰囲気づくりを行う。
- 自ら楽しく豊かな学校生活を送りたい、自ら話し合っって問題を解決したいなど、自主的・実践的な活動ができるよう、特別活動の時間や清掃活動(ぴかぴかデー)を大切にす。
- E-活動、なかよし月間の取り組みを通して、自他の個性を尊重し、相手の立場になって考え行動できる協力的な人間関係を築く。
- 公共の精神や社会規範を尊重する態度を育成するために、児童の規範意識を醸成する。(「あいさつ」と合わせて、「あんぜん」「あつまり」「あとしまつ」を合い言葉に)

#### 2. 円座で学び、円座で暮らしてよかったと思える教育を推進する

- 人、もの、ことなど地域の教育資源との関連を図った教材の開発、体験活動の充実等を通して、地域への愛着や誇りをもつ児童を育てる。
- 円座小学校の様々な活動等を支えていただいている地域コミュニティや関係団体と協力した活動を行ったり、地域の方に感謝の気持ちを伝えたりする場を設定する。

## 考 え 学 ぶ 子

### 1. 誰一人取り残さず、一人一人が輝くための指導を充実する

- ①「個に応じたきめ細かな指導」を充実する。
  - 児童一人一人の学習状況を正しく見取り、それに応じた手だてを用意することによって、一人一人の児童の学力向上を図る。
  - 学習内容の習熟の度合い、一人一人の発達段階や特性、問題意識、学ぶ目的等に応じた指導を適宜取り入れ、個別最適な学びの実現を図る。
  - ICT機器を活用しながら、個に応じた手立てを用意する。
- ②児童の知的好奇心を喚起し、主体的に考える姿勢を育む授業を創造する。
  - みんなで学ぶ価値を感じられる課題、実社会や実生活に関連した課題、児童のつぶやきから生まれた課題等、児童にとって学びがいのある課題を設定する。
  - 児童の努力や成長の過程を認め励ます評価を通して、次の学習への意欲付けを図る。

### 2. 生徒指導の視点に留意した授業を推進する

- ①一人一人が大切な存在だと感じられるようにする。
  - つぶやきを積極的に取り上げ、発表の機会をつくる。
  - 誤った解答でも、全員で考える契機とするなどして大切に扱う。
- ②お互いのありのままを受け入れる他者受容感を育てる。
  - 教師と児童の一问一答にならないように児童どうしの発言をつなげる。
  - 教師が共に努力しようという姿勢で児童と関わる。
- ③自分で考え判断し、実行できる場面を意図的に設定する。
  - 学習方法や、学習形態を選択できるようにする。
  - 自身の学習のめあてを振り返り、これからの学習につなげるような場の設定をする。
- ④安心して楽しく学べる雰囲気が感じられる授業を推進する。
  - 児童全員が共有している学習規律を確立する。
  - 互いに意見を言い合えて、認め合えるグループ活動を取り入れる。

## 信 じ て 進 む 子

### 1. 健やかな成長のための教育活動を推進する

- 円座リミックや体育科の授業を通して様々な運動に触れさせ、児童自らが目標を設定し、達成の喜びを味わわせながら、挑戦し続けられるように支援する。
- かっこE円座っ子チェックを活用し、保護者と連携しながら、心身の健康に資する基本的な生活習慣を確立する。また、学校保健委員会を開催し、児童の健康課題を共有し、学校医の指導助言のもと、健康の保持・増進に努める
- マイランチの日を設定し、食生活についての関心を高める。

### 2. 安心して安全な学校づくりのための活動を推進する

- 交通安全指導、防災教育、実践的な避難訓練等を通して、自分の安全を確保する適切な避難行動ができるようにする。
- 校内安全点検の徹底、日々の安全指導の充実を図り、けがや事故防止に努める。

### E-なかまの協働体制の構築

- 登校しづりが見られたり、事故やトラブル等があったりした場合は、迅速に保護者と連携をとる。その際、保護者から十分話を聞いて、ともに協力していく関係をつくる。
- 連絡帳などを活用して子どものよい点を報告したり、連絡帳に保護者からコメントを記入してもらったりして、日頃から保護者の意見や情報を得やすくする関係づくりに努める。
- ホームページ・ブログを通して、学校における日々の生活や児童の成長の姿を発信し、教育実践に対する理解を得る。
- 学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。また、PTAと適切な連携を図り、学校教育活動に対する理解と協力を得る。
- 学校だけでは抱えきれない問題に対しては、適切に関係機関と連携を図りながら解決を図る。